

あ お も り

町村 自治

2024 **4** No.1242

令和6年

年4回発行

編集・発行 青森県町村会

〒030-0801 青森市新町二丁目4番1号 TEL. 017-723-1331 FAX. 017-723-1347

HP <http://www.aomori-chousonkai.jp/>

本会定期総会	2
自治功労者表彰名簿	4
特別交付税・ 道路除排雪経費の確保に関する要望	5
いまが旬！	10
エッセイ 大鱈町長 山田 年伸 氏	14



県立自然公園「茶臼山公園」

おおわにまち
大鱈町

昭和30年中頃までは桜の名所として親しまれていましたが、昭和41年以降は大鱈中学校の入学記念樹として毎年つつじが植樹され、今では40数種総数1万5千本以上を数えるつつじの名所となっています。

また、この茶臼山には300種類に及ぶ野生植物、約40種類の万葉植物が自生しており、全国でも珍しいとされています。

本会定期総会

令和6年度事業計画・予算を決定

全国最高齢首長となった鈴木田舎館村長を特別表彰



定期総会には町村長はじめ31人が出席

本会は2月26日、青森市のホテル青森で令和6年第1回定期総会を開催し、令和6年度の事業計画及び予算などを決定したほか、実効ある物価高騰対策による地域経済の回復をはじめ11項目の決議を採択した。また、議事に先立ち、青森県町村会表彰として自治功労者の表彰や全国最高齢首長となった鈴木田舎館村長の特別表彰を行った。



町村を取り巻く環境について述べる小又会長

定期総会には、町村長をはじめ来賓及び被表彰者など31人が出席した。

はじめに小又会長があいさつで、「本日表彰される皆様には、このたびの荣誉に対し心から敬意を表し、お喜び申し上げます。また今回は、全国926町村の首長の中で最高齢の首長となった鈴木田舎館村長さんに対して特別表彰を行うことを本日の理事会で決定したこともご報告申し上げます。さて、1月1日に発生した能登半島地震では、甚大な被害が発生した。被災された地域の皆様に心よりお見舞いを申し上げるとともに、一日

も早い復旧をお祈り申し上げます。」と述べた。また、県、市長会、本会の3団体合同で総務省と国土交通省へ特別交付税及び道路除排雪経費の確保要望を行ったことや、昨年マイクロツーリズム推進のため実施した「30町村にいらっしやいませキャンペーン」については、「多くの方が町村を訪れたことや、特産品詰め合わせプレゼント等により、大きな経済波及効果があったと思う。今後も町村が直面する様々な課題の解決に向けて後押しできる活動を積極的に展開していく。」と述べた。

表彰

県町村会表彰として自治功労者の平田鱒ヶ沢町長、富岡風間浦村長、一般職員118



来賓祝辞を述べる宮下知事

議事

令和6年度 予算等を決定

小又会長が議長となつて議事に入り、令和6年度事業計画案及び予算案など議案4件について審議し、それぞれ原案どおり承認、決定した。

名の代表・六戸町 柴山英夫氏及び特別表彰として全国で最高齢の首長となつた鈴木木田舎館村長に表彰状と記念品を授与した。

表彰終了後、来賓の宮下知事が祝辞を述べ、また、同じく来賓として出席の松林県町村議会議長会会長、星県総務部市町村課長が紹介された。

○議案第1号 令和6年度青森県町村会事業計画案(概要)

Ⅱ町村の多くは農山漁村地域にあり、文化・伝統の継承はもとより、食料・エネルギーの供給、水源かん養、自然環境の保全等、極めて大きな役割を果たしてきた。しかしながら、町村は、急速な少子高齢化や人口減少、労働力不足など多くの課題を抱えており、また総じて税源に乏しく厳しい財政運営を余儀なくされている。このような中、物価高騰等による住民生活及び経済活動への影響が深刻化しており、加えて、自然災害も頻発・激甚化している。住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をととも創っていく社会の実現のため、町村は自主的・自立的に地域特性や資源を活かした施策を展開するとともに、災害に強く持続可能な活力のある地域づくりに取り組んでいかなければならない。

このため、令和6年度の会務運営は、県、全国町村会及び関係団体と連携を緊密にして、町村自治確立のため、諸課題の解決に向けた政務活動を、県内町村の創意と英知を

結果しながら積極的に実施する。

また、本会の主要事業である町村長の健康維持増進のための健康管理事業をはじめ、町村長並びに町村職員の研修表彰、町村職員採用試験、法令外負担金の検討、広報活動等をこれまで以上に効果的・効率的に実施していく。

共済関係事業は、関係団体の財政の安定と町村職員等の福祉の向上に資するため、より一層の利用を促進し、町村の振興発展と活力ある地域社会の実現に寄与していく。

○議案第2号 令和6年度青森県町村会会費案Ⅱ会費総額は、569万2千円とする。

○議案第3号 令和6年度青森県町村会一般会計予算案Ⅱ収入支出予算総額を、収入支出それぞれ2億9189万1千円(対前年度比343.1万円13.3%増)とする。

○議案第4号 令和6年度青森県町村会公有物件共済事業等特別会計予算案Ⅱ経常収支計を、4986万5千円とする。

決議(項目抜粋)

- 1 実効ある物価高騰対策による地域経済の回復を図ること
- 1 デジタル田園都市国家構想交付金等を拡充し、デジタルを活用した地域活性化と地方創生の更なる推進を図ること
- 1 地方交付税等の一般財源総額を確保すること
- 1 農林漁業者が将来にわたって意欲と希望を持って経営に取り組めるよう、経済のグローバル化に対応した持続可能な農林水産業の振興施策を講じること
- 1 農林漁業の振興による農山漁村の再生・活性化を図るとともに、都市と農山漁村の共生社会を実現すること
- 1 ALPS処理水の海洋放出に伴う、風評対策、水産業支援等の徹底を図るとともに水産業の振興、漁村の活性化に取り組むこと
- 1 少子化対策を推進し、こども・子育て政策を強化すること
- 1 医療・保健・福祉施策を強力に推進するとともに、公立・公的病院を中核として、医師確保対策をはじめとする地域医療提供体制の充実・強化を図ること
- 1 安全・安心で持続可能な地域公共交通の確立を図ること
- 1 防災・減災対策、国土強靱化を推進するとともに、道路、河川、生活環境等の整備促進を図ること
- 1 地域資源を最大限活用した経済・雇用施策及び観光振興を推進すること

受賞おめでとうございませう

青森県町村会表彰 自治功労者（敬称略）

町村長（在職10年以上）

西津軽郡 鱈ヶ沢町

平田 衛

下北郡 風間浦村

富岡 宏

特別表彰 全国最高齢首長（敬称略）

南津軽郡 田舎館村

鈴木 孝雄

一般職の職員

（在職25年以上）

平内町 竹達暁教、木下加奈子、木村秀樹、倉本紀子、須藤貴人、倉本知哉、木村清秀
今別町 太田和泉、三橋あゆみ、阿部真紀子
外ヶ浜町 若山純子、木野田晴也、本堂美幸
鱈ヶ沢町 三上かおり、豊澤貴光、須藤久輝、後藤真理
深浦町 岩谷拓士、西口光洋、伊東信、熊谷一夫、福沢月宝



青森県町村会より表彰を受けた平田鱈ヶ沢町長（右上）、富岡風間浦村長（左上）、鈴木田舎館村長（右下）、六戸町 柴山氏（左下）

西目屋村 成田幸喜、米沢知恵美、本間美幸
藤崎町 館田康彦
大鰐町 北山しのぶ
板柳町 工藤寿子

鶴田町 寺山倫宏、今優也、佐々木智寿、安田昌孝、藤田隆宏、齋藤奈央
中泊町 田中宙子、宮越敏宜、蝦名ちあき、白崎春樹、太田忍、松原美奈、打越賢一
野辺地町 木明裕二
七戸町 天間桂子、小又陽子、山本真琴、原子慎也、小林義和、鈴木陽子、鳥谷部久美子
六戸町 大久保多美子、柴山英夫、木村朝子、苦米地貴博、赤石正之、三浦しおり
横浜町 菊池和也
東北町 野田武儀、鈴木光影、乙供大輔、蛭沢敬生
おいらせ町 柿本このみ、若林孝明、澤頭玲、三文字弥生、

坂井田浩
六ヶ所村 大潤静江、久保淳子、田中寿一
大間町 伊藤満治、小林唯宏、傳法政仁、岩瀬久美子
風間浦村 能渡和枝
佐井村 奥本治彦、東出尚哉、宮川尚美、山田陽子
三戸町 佐々木宗子、松尾康晃、野田尚志、馬場幸治、上田義貴、椛沢秀孝、沼辺大輔、澤田佳美、高山雪恵
五戸町 中里誠、三浦和也、高谷恵子、仁和一夫、中村宝子
田子町 佐藤聖子、高山守、大久保由希、澤口麻衣子、河原理亜子
南部町 高木博徳、三春功志、小ヶ口貴裕、佐々木吉彦
新郷村 前山艶子
中部上北広域事業組合 成田勝博、通駅隆浩、蛭名俊夫、山谷敬一、中村康幸、滝沢昌松、宮仲央、沼尾裕美、山本香奈子、盛田京子、馬場しの
西海岸衛生処理組合 清水谷智子
鱈ヶ沢地区消防事務組合 奈良篤、今竜男
北部上北広域事務組合 高橋聡、長利綾子、下山和美

特別交付税の配分・ 道路除排雪経費の 財政支援を要望



国土交通省の吉岡技監に要望する小又会長(右)

要望には宮下知事のほか、市長会から山本監事、本会から小又会長が参加した。総務省では内藤総務事務次官、大沢自治財政局長、新田財政課長に、国土交通省では吉岡技監、丹羽道路局長に面談のうえ、町村の実情を説明した。なお、要望書は財務省及び県選出国会議員等にも提出した。

本会は2月15日、県、市長会との3団体合同で、総務省並びに国土交通省に対して令和5年度特別交付税及び道路除排雪経費の確保に関する要望を行った。

これは、近年の燃油価格上昇により除排雪経費の増加が見込まれることや、ホタテガイの高水温被害対策に係る経費への配慮などを求め実施したものの。

要望には宮下知事のほか、市長会から山本監事、本会から小又会長が参加した。総務省では内藤総務事務次官、大沢自治財政局長、新田財政課長に、国土交通省では吉岡技監、丹羽道路局長に面談のうえ、町村の実情を説明した。なお、要望書は財務省及び県選出国会議員等にも提出した。

理事会・生協支部委員会 を開催

第1回理事会

本会は2月6日、青森市のホテル青森で令和6年第1回理事会を開催した。出席者は、小又会長をはじめ役員町村長12名。

理事会では、令和6年度事業計画などの議案4件並びに、定期総会次第案などの協議事項2件をそれぞれ原案どおり承認、決定した。事業計画及び予算案は2月26日開催の本会定期総会に提出する。

議案

- 議案第1号 令和6年度青森県町村会事業計画案
 - 議案第2号 令和6年度青森県町村会会費案
 - 議案第3号 令和6年度青森県町村会一般会計予算案
 - 議案第4号 令和6年度青森県町村会公有物件共済事業等特別会計予算案
- 協議事項**
- 協議事項1 令和6年第1回青森県町村会定期総会次第



案並びに案件について
○協議事項2 決議案について

第1回生協支部委員会

本支部は、令和6年第1回支部委員会を书面開催し、令和6年度の予算案について、原案どおり承認・決定した。

議案

- 議案第1号 令和6年度全

国町村職員生活協同組合青森県支部会計予算案Ⅱ収入支出それぞれ4183万2千円(対前年度比31万9千円0.8%減)

第2回理事会

本会は2月26日、定期総会に先立ち、青森市のホテル青森で令和6年第2回理事会を開催した。出席者は、小又会長をはじめ役員町村長11名。

理事会では、現職の首長で最高齢となった鈴木田舎館村長への特別表彰や本会常務理事兼事務局長の任期延長について協議し、原案どおり決定した。

協議事項

- 協議事項1 特別表彰についてⅡ全国926町村の中で最高齢の首長となったことにより、鈴木田舎館村長を表彰する。
- 協議事項2 青森県町村会常務理事兼事務局長の任期についてⅡ令和6年3月31日をもって満了する原田常務理事兼事務局長の任期について、令和7年3月31日まで延長する。

町村長選挙結果

六戸町長

佐藤 さとう
陽大 あきひろ
氏



任期満了に伴う六戸町長選挙は、1月21日、投票が行われ、新人の佐藤陽大氏(50)が初当選を果たしました。
(略歴) 建設会社役員

町村の魅力発信事業助成事業を是非ご利用ください

「町村の魅力発信事業助成事業」は令和6年度も実施しますので、積極的にご利用をお願いします。

主な助成内容

- 1 助成金額…令和6年4月1日から令和7年2月10日までに実施する事業に対し、1町村当たり200万円を限度に実費助成
 - 2 助成対象経費
謝金、旅費、印刷製本費・複写費、賃借料、通信運搬費、共同事業に関する負担金、その他事業を行う上で本会長が必要と認める経費
 - 3 助成対象事業例
 - ・イベント等開催に係る観光振興等に係る事業
 - ・地域活性化に貢献できる人材育成・確保事業
 - ・産業振興上必要な事業
 - ・地域資源の発掘、活用による商品開発、需要拡大事業
 - ・地域のイメージアップ・環境整備につながる施設整備事業
- 令和6年5月31日(金)までに、別に定める事業計画申請書を本会へ提出願います。
- 問合せ先
町村の魅力発信事業助成事業に関しては、本会業務共済課(電話:017-723-1331)までお問い合わせ願います。

青森県町村長等名簿

令和6年4月1日現在
町村数30町村(22町8村)

町村	区分	町村長氏名	生年月日	当選回数	任期満了年月日	副町村長氏名
東郡	平内町	船橋茂久	S24.7.17	4	R9.11.14	山田光昭
	今別町	阿部義治	S25.9.18	2	R8.7.23	飯田哲
	外ヶ浜町	山崎結子	S56.6.21	2	R7.4.23	松橋稔
	蓬田村	久慈修一	S25.8.1	3	R7.11.8	小松生佳
西郡	鱒ヶ沢町	平田衛	S34.11.1	2	R7.12.26	加藤隆之
	深浦町	吉田満	S28.9.9	4	R6.12.20	佐藤洋一
中郡	西目屋村	桑田豊昭	S32.1.11	1	R7.2.20	
南郡	藤崎町	平田博幸	S32.6.2	4	R9.11.19	三上孝之
	大鰐町	山田年伸	S27.3.11	4	R8.7.21	
	田舎館村	鈴木孝雄	S12.2.10	5	R6.11.17	金枝尚明
北郡	板柳町	葛西健人	S34.7.18	1	R9.4.29	長内伸夫
	鶴田町	相川正光	S28.10.29	3	R8.8.20	
	中泊町	濱館豊光	S34.10.3	2	R7.4.23	横野彰吾
上北郡	野辺地町	野村秀雄	S38.4.15	2	R9.10.26	江刺家利夫
	七戸町	小又勉	S24.1.2	5	R7.4.23	
	六戸町	佐藤陽大	S48.11.4	1	R10.1.27	円子富浩
	横浜町	石橋勝大	S16.9.27	1	R6.12.11	
	東北町	長久保耕治	S47.11.14	1	R7.4.23	沼尾啓吉
	おいらせ町	成田隆	S26.2.4	3	R8.3.25	小向仁生
	六ヶ所村	戸田衛	S22.1.28	3	R8.7.6	橋本晋
下北郡	大間町	野崎尚文	S30.11.17	1	R7.1.18	
	東通村	畑中稔朗	S37.7.14	1	R7.4.12	
	風間浦村	富岡宏	S37.4.27	2	R7.2.18	
	佐井村	太田直樹	S50.7.14	1	R8.4.26	田名部二郎
三戸郡	三戸町	松尾和彦	S38.5.9	2	R6.12.15	馬場浩治
	五戸町	若宮佳一	S41.12.30	2	R9.6.26	大久保均
	田子町	山本晴美	S39.4.10	4	R10.1.14	福田博実
	南部町	工藤祐直	S30.5.22	7	R8.2.11	佐々木俊昭
	階上町	荒谷憲輝	S45.4.24	1	R7.12.23	澤田充
	新郷村	櫻井雅洋	S27.5.25	2	R7.5.28	横田堅悦

特選 弘前市「広報ひろさき」



令和6年県広報コンクール
「広報ひろさき」が特選

本会に事務局を置く県広報協会は、1月30日、令和6年県広報コンクール審査会を開催した。
 同コンクールは市町村の広報活動の向上を目的に開催しているもので、県内市町村から広報紙21点、写真44点、映像2点の応募があった。
 6名の審査委員による厳正

な審査の結果、広報紙総合の部で弘前市の「広報ひろさき」(令和5年3月1日号)が特選、平川市の「広報ひらかわ」(令和5年10月号)が準特選となった。
 上位入賞作品は、日本広報協会主催の全国広報コンクールに県代表として推薦する。

「広報ひろさき」の広報紙部門(総合の部)特選は、令和5年に引き続き2年連続での受賞となった。広報紙部門での入賞は18年連続。

令和6年青森県広報コンクール審査結果

広報紙部門(総合の部)

特選 弘前市「広報ひろさき」 3月1日号※
 準特選 平川市「広報ひらかわ」 10月号※

広報紙部門(市部)

入選 むつ市「広報むつ」 3月号
 佳作 黒石市「広報くろいし」 10月号
 奨励賞 十和田市「広報とわだ」 10月1日号

広報紙部門(町村部)

入選 東通村「広報ひがしどおり」 11月1日号
 佳作 外ヶ浜町「広報そとがはま」 11月号
 奨励賞 平内町「広報ひらない」 1月1日号
 五戸町「広報このへまち」 9月22日号

広報写真部門(一枚写真の部)

入選 板柳町「広報いたやなぎ」 11月号※
 佳作 六ヶ所村「広報ろっかしょ」 12月1日号
 奨励賞 黒石市「広報くろいし」 7月号

広報写真部門(組み写真の部)

入選 弘前市「広報ひろさき」 9月1日号※
 佳作 黒石市「広報くろいし」 9月号
 南部町「広報なんぶちょう」 10月号
 奨励賞 十和田市「広報とわだ」 2月1日号

映像部門

入選 青森市
 「広報あおもりライターがオススメ記事を紹介!『広報指差しカクニン』
 【R 5.11.1号】」※
 佳作 むつ市
 「ほたて消費拡大!! レシピ編
 TOMO'S キッチン Vol.2 #380」

※印は日本広報協会主催の全国広報コンクールへの推薦作品

令和6年青森県広報コンクール審査委員

所属	職名	氏名
東奥日報社	編集局整理部整理委員	田名辺 真路
デーリー東北新聞社	青森支社長	荒津内 寿
陸奥新報社	青森支社長兼業務部長	今井 珠世

所属	職名	氏名
青森放送	役員待遇報道局長	小山田 文泰
青森テレビ	報道制作局長	稲岡 洋樹
青森朝日放送	取締役報道制作局長兼アーカイブ推進部長	浅野 哲司

Discover My Romori
30町村に
 いらっしやいませ
 当選者アンケート結果

本会では、令和5年8月26日から10月31日に県内町村の魅力や観光資源の再発見を促進するため、令和4年度に引き続き「30町村にいらっしやいませキャンペーン」第2弾を実施した。当選者には5町村分の特産品詰め合わせ1万円相当をお送りし、アンケートを同封した。

本会が実施した「30町村にいらっしやいませキャンペーン」第2弾の当選者500名を対象に行ったアンケートで、最も人気のあった商品は板柳町の「完熟」アップルジュースだった。普段、当選者自身がギフトなどに利用している商品が届いたことがうれしいという声が上がった。

気に入った商品は「完熟」アップルジュース（板柳町）、ほたて干し貝柱（野辺地町）、ひばまな板セット（風間浦村）

アンケートの回答者298名のうち、80%が50代以上だった。

また、当選者に5町村分の特産品詰め合わせの中で特に気に入ったものを聞いたところ、板柳町の「完熟」アップルジュース、野辺地町のほたて干し貝柱、風間浦村のひばまな板セットが特に人気だった。最も人気のあった「完熟」アップルジュースには、「プレゼントしたことはありませんが自分で飲むのは初めてでした。スッキリしていてとてもおいしいです」、「甘くて、高級品と感じました。東京の

友人に送りました」といった感想が寄せられた。上位10商品は左表のとおり。

今後行きたい町村は
 佐井村・深浦町

今後行きたい町村は、昨年に引き続き佐井村、深浦町といった意見が多く、上位10町

お届けした商品の中で、気に入ったものを3つ教えてください。

- 1位 31人
「完熟」アップルジュース（オリジナルテイスト・スイートテイスト）
（板柳町）
- 2位 30人
ほたて干し貝柱（野辺地町）
ひばまな板セット（風間浦村）
- 4位 29人
いちご煮缶（階上町）
- 5位 28人
ひがしどおり十割そば（乾麺セット）
（東通村）
- 6位 26人
生キャラメル煎餅（新郷村）
- 7位 25人
菜の花蜂蜜（横浜町）
- 8位 24人
調理しじみ3パック（東北町）
- 9位 23人
おひさま色のミニトマトジュース
（田舎館村）
つるたスチューベンサブレ（鶴田町）

今後30町村のうち、どの町村へ行ってみたいと思いますか？（複数回答可）



村には昨年と同じ町村がランクインした。その町村の「特産品を食べたい」という意見が多い一方、「遠くてなかなか行けない」という意見もあった。



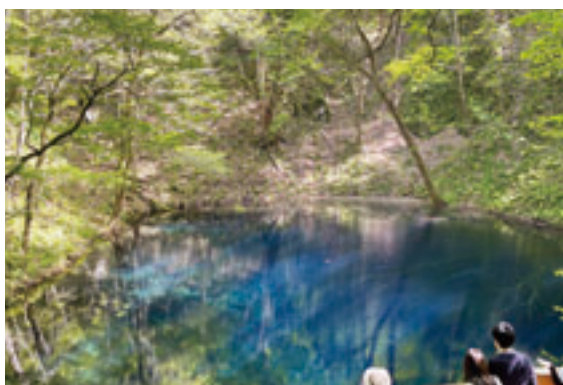
問い合わせ先 今別町観光協会
TEL 0174-31-5140

令和6年4月28日(日)にいまべつ3大まつりの始まりを告げる「海峡いまべつ春まつり」が海峡さざなみ公園(今別漁港地内)で開催されます。津軽海峡を一望できる公園で、いまべつ牛の串焼きなど町の特産品に舌鼓を打ちながら、荒馬などのステージイベントなどを楽しむことができます。ぜひ、ご来場ください。

津軽海峡の春を感じよう
海峡いまべつ春まつり

いまが旬!
いまべつまつり
今別町

東津軽郡



問い合わせ先 深浦町役場 観光課
TEL 0173-77-4412

白神山地の西麓、十二湖は4月1日より冬期通行止が解除され、自由入場・散策が可能です。人気スポット「青池」をはじめ、十二湖はこの時期、鮮やかな色の若葉と水面が織りなす自然の美しさを存分にお楽しみいただけます。例年、ブナは4月中旬から芽吹きが始まり、新緑の見ごろは5月中旬ごろまで。みずみずしい新緑に心もカラダも包まれてみませんか。

春の白神山地・青池
新緑がまぶしい十二湖へ

いまが旬!
ふかうらまつり
深浦町

西津軽郡



問い合わせ先 津軽白神ツアー
TEL 0172-85-3315

道の駅津軽白神インフォメーションセンターを出発し大自然の中をドライブした後は、津軽白神湖へスプラッシュイン! 白神の清風を浴びながら、湖上から四季折々の景色を楽しむことができます。

運行期間 4月下旬から10月下旬まで。

水陸両用バス
ニシメヤダムレイクツアー

いまが旬!
にしめやむら
西目屋村

中津軽郡



問い合わせ先 横浜町役場 産業振興課
TEL 0175-78-2111

横浜町の大イベントである菜の花フェスティバルが、5月11日(土)・12日(日)の2日間、大豆田地区特設会場で開催されます!

ゲストランナーをお迎えしての菜の花マラソンやステージショーなどイベントが盛りだくさんです。

鮮やかな黄色の菜の花畑を「菜の花大迷路」で堪能しませんか。ぜひご来場ください。

2024菜の花フェスティバル
inよこはまの開催!!

いまが旬!
よこはままつり
横浜町

上北郡

いまが旬!

風間浦村

かまのうら

下北郡

産地直売所ふのりちゃん

産地直売所ふのりちゃんは風間浦村で唯一の産直施設であり、下風呂温泉から大間町に向かう国道279号海沿いの布海苔記念公園内にあります。

店内では、風間浦村産のふのり、こんぶ、わかめなどの海藻類や、地元で採れた山菜、村特産のヒバ加工品などを販売しています。

隣には広い駐車スペースがあり、天気の良い日は北海道が見えるのでドライブなどの休憩の際に寄ってみてはいかがでしょうか。

住所：青森県下北郡風間浦村大字蛇浦字沢ノ黒18

営業日：4月下旬頃～10月下旬頃
(毎週土・日 9:00～15:00)

※GW及びシーズン外でお求めの際は、お問い合わせください。



問い合わせ先 かざまうら産地直売所ふのりちゃん
TEL 080-8222-1211

いまが旬!

階上町

はしかみちやう

三戸郡

魚介の宝庫「はしかみハマの駅あるでい〜ば」

階上海岸沿いにある「はしかみハマの駅あるでい〜ば」。階上の近海でとれた魚介類が豊富に並び、多くの来場者でにぎわいます。

また、レストランでは太平洋を一望しながら旬の魚介を使った料理を味わえるほか、軽食コーナーではソフトクリームや海藻入りの厚焼き玉子なども販売しています。

皆さまのご来場をお待ちしております。



問い合わせ先 はしかみハマの駅あるでい〜ば
TEL 0178-38-3166

いまが旬!

新郷村

しんきやうむら

三戸郡

キリスト祭
ロマンに思いをさせて

6月2日(日)は「第60回キリスト祭」が開催されます。

キリスト祭では、玉串奉納や獅子舞、ナニヤドヤラ(盆踊り)などが執り行われ、神秘的な様子を一目見ようと多くの観光客が訪れます。

今年は、例年の慰霊祭に加え、特産品の販売や近隣のナニヤドヤラ団体との交流を予定しています。

皆様のご来場をお待ちしております。



問い合わせ先 新郷村役場 企画商工観光課
TEL 0178-78-2111

●お知らせとお願い

「あおもり町村自治」は、会務活動状況及び災害共済諸事業の啓発事項、県市町村総合事務組合及び内部団体の活動状況のほか、町村長の紹介及び各町村の特集記事等を掲載し、3カ月に1回季刊発行しています。

本ページの「町村トピックス いまが旬!」は、各町村の時期、季節の旬の情報をPRするコーナーで、イベント、観光スポット、施設、特産品、町の話・出来事などが満載!

各町村で、本紙への掲載希望事項等がありましたらご連絡ください。また、表紙写真や関連記事等掲載依頼の際は、ご協力をよろしくお願いいたします。

■ 共済契約できる自動車

1. 共済契約者の所有する
2. 共済契約者と同一世帯に属する親族(同居の親族)の所有する

- 自家用普通・小型乗用自動車
- 自家用軽四輪自動車
- 自動二輪車 ● 原動機付自転車

■ 共済掛金と共済金額

組合員のニーズに合った選択ができるよう、共済金額はA型とB型の2タイプです。

共済金額	用途及び車種 区分	共済掛金額 (年間)			
		自家用普通・小型乗用 小型貨物車(660cc超)	自家用軽四輪乗用・ 貨物車(660cc以下)	自動二輪車 (125cc超)	原動機付自転車 (125cc以下)
A 型	対人賠償	無制限			
	対物賠償	1,000万円	30,000円	19,000円	17,000円
	自損事故傷害	1,500万円			12,000円
	限定搭乗者傷害	500万円			
B 型	対人賠償	無制限			
	対物賠償	無制限	33,000円	21,000円	20,000円
	自損事故傷害	1,500万円			14,000円
	限定搭乗者傷害	1,000万円			

※無共済等自動車傷害共済・他者運転特約も自動付帯。 ※自賠償保険と共済金の一括払も実施しています。

※契約車両(自動二輪車、原動機付自転車を含む)が、事故・故障またはトラブルで自力走行できなくなった場合、レッカーけん引や30分程度の応急処置などを手配するロードサービスを実施しています。

車両共済(保険)のごあんない

- ◎ 共済契約されると、車両共済(保険)に加入することができます。
- ◎ 車両共済(保険)は、対人賠償・対物賠償等を補償する全国町村職員生活協同組合自動車共済とは別に加入するもので、**ご自身のお車の損害**を補償する制度です。
- ◎ 車両共済(保険)は、損害保険ジャパン(株)の商品(一般自動車保険の車両保険)です。保険についてのご説明、保険料見積、契約締結等は、取扱代理店(株)千里が行います。

車両共済(保険)に関するお問い合わせ先 TEL 0120-731-087

いつでもご加入いただけますので下記までお問い合わせ願います。

問合せ先 全国町村職員生活協同組合青森県支部
青森県町村会業務共済課 TEL 017 (723) 1331



掛金が一律！等級制度がありません！

自動車共済

青森県町村会等事務分担

(令和6年4月1日現在)

青森県町村会

常務理事兼
事務局長

原田 啓一

課・職名・氏名	主要担当業務
総務課 副参事(副課長) 上原俊一郎 総括主幹(副課長) 吉本 知己 主事 藤田しのぶ 主事 内山 大輔 主事 若佐 直音 主事 ※川村 将慶 臨時事務手 ※若佐 早苗	人事、規約・諸規程の改廃、 予算、関係諸団体等との連絡 調整、各業務の調整、総会そ の他の諸会議、総務厚生委員 会、顧問弁護士、表彰、軽自 動車税申告台数調べ、文書の 收受・発送、各団体の予算経 理、現金・有価証券の出納・保 管、決算、物品の出納・保 管、他の所管に属しないこと
業務共済課 総括主幹(副課長) 大坂 謙 総括主幹(副課長) 原子美香子 主査 嶋田 裕哉 主査 伊勢田陸美 主事 ※山田 健人 臨時事務手 竹内 理香	(業務関係) 政務調査委員会、提言、要望、 市町村長・職員の研修、町村 職員採用試験、広報、町村の 魅力発信事業の助成、町村自 治振興調査研究、県広報広聴 協議会、全国山村過疎地域振 興連盟県支部、発電関係市町 村全国協議会県支部 (共済関係) 公有建物・自動車共済、職員 火災・自動車共済、特定疾病 保険、任意共済、団体生命共 済、個人年金共済、総合賠償

確かな安心を！いつでも申し込み可能

火災共済



小さな掛金で大きな安心

■共済契約できる物件

- 共済契約者の所有する居住用建物およびその建物内にある動産
- 共済契約者と同一世帯に属する親族が所有し、かつ、共済契約者が現に居住する建物およびその建物内にある動産

■共済掛金と共済金額

共済掛金（年額）は共済契約1口（10万円）につき60円です。
 契約額の最高限度は、600口（建物400口、動産200口）で、6,000万円（風水雪害は450万円）を限度に補償します。

共 済 契 約 の 最 高 限 度 額			
区 分	口 数	共 済 金 額	共 済 掛 金
建物のみの場合	400口	4,000万円	24,000円
動産のみの場合	200口	2,000万円	12,000円
建物と動産を併せた場合	600口	6,000万円	36,000円

※水廻り・鍵開けでお困りの際、専門業者を手配し、水漏れを止めたり、紛失した鍵を開ける等の応急処置をするサービス（ホームアシスタンスサービス）を実施しています。

風水雪害特約制度

- ◎火災共済契約に任意で付加することができる特約制度です。風水雪害による損害に共済金を支払います。
- ◎この特約を付加することで、火災共済契約の風水雪害共済金に加算して、損害額の50%または火災共済契約額の50%のいずれか少ない額を限度に、風水雪害特約共済金が支払われます。（ただし、風水雪害共済金と特約共済金の支払合計額が3,000万円を超える場合、3,000万円が限度となります。）
- ◎特約共済掛金は、一口（10万円）につき50円です。（火災共済契約の契約口数と同口数を付加していただきます。）

青森県市町村総合事務組合

事務局長 原田 啓一

課・職名・氏名	主要担当業務
総務課 副参事（副課長） 上原俊一郎 総括主幹（副課長） 吉本 知己 主 事 藤田しのぶ 主 事 内山 大輔 主 事 若佐 直音 主 事 ※川村 将慶	消防団員等公務災害補償等に 関する事務、非常勤職員公務 災害補償等に関する事務、自 治会館の管理・運営に関する 事務
市町村税滞納整理機構 滞納整理課 機 構 長 棟方 清則 滞納整理課長 平野 法泉 主幹専門員 齊藤 祥 主 幹 和久 隆之 主任専門員 三浦 智將 主 事 ※木村 美希 主 事 蝦名 香澄 主 事 藤田 昭 主 事 福井 宏 主 事 小林 紀子 主 事 横山 麻美	市町村税等の滞納整理に関す る事務

※は新採用

補償保険、災害対策費用保険、
 消防設備資金の融資

「住みたい・住み続けたい」と 思える大鰐町の実現を目指して

大鰐町は青森県津軽地方の南端に位置し、豊かな自然と緑に囲まれ、津軽の奥座敷として四季折々の美しさを満喫させてくれる町です。町を歩けば、津軽地方では「大鰐の大日様」として篤い信仰を集める大円寺や、津軽藩を築いた津軽為信公がその湯で眼を洗い、眼病を治したとの言い伝えが残る湯魂石薬師堂など、昔ながらの町並みが残る一方、日帰り温泉をはじめ、お土産コーナーや食事処などを併設する複合施設「鰐c o m e」や、建て替え工事が行われた大湯会館など、新しい施設も次々と建設されています。

町の主な産業は農業で、りんごやトマトなどさまざまな作物が栽培されていますが、中でも温泉熱と温泉水のみを用いて栽培するという湯の町ならではの栽培法により栽培

される「大鰐温泉もやし」は、全国的にも名が知られており、香り、味、食感ともに品質が高く、人気が高い伝統野菜です。



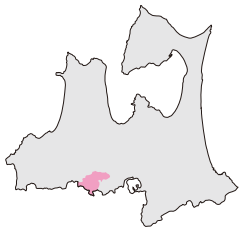
町にはスキー場もあり、毎年、多くの方がスキーやスノーボードを楽しんでいるほか、国民スポーツ大会やインカレなどの大規模なスキー大会の会場としても利用されるなど、ウインタースポーツの振興に寄与しています。



大鰐町長

としのぶ
年伸

やまだ
山田



津軽地方の南端に位置し、津軽の奥座敷として四季折々の美しさを満喫させてくれる湯の里。平川沿いには、温かな風情のたたずまいが連なり、湯宿を中心に「大鰐の湯ッコ」として古くから親しまれています。

私は、昭和27年に大鰐町に生まれ、地元の小・中学校を卒業し、その後弘前南高等学校に入学しました。高校卒業後は、千葉商科大学に入学するため一時地元を離れることになりましたが、家業を継ぐために地元大鰐へ戻ることにしました。

20年ほど地元で働くうちに、もつと地域のために貢献したいという思いから、平成3年に町議会議員選挙に立候補する決意をし、初当選しました。振り返ると、私が行政に携わるきっかけとなった人生の転機となる出来事であったと感じています。最初は、議会の仕組みに慣れない点も多く、悪戦苦闘する日々でしたが、町民の思いを町政に伝えるという議員としての職責を果たすため、必死に努力したことを思い出します。

その後、議員として4期目となった頃、当時の町の財政状況に危機感を感じ、自らの手で財政の健全化を図りたいという思いから、平成22年に町長選に立候補しました。選挙では当時の現職との一騎打ちとなりましたが、開票の結

果、得票数が同票となり、公職選挙法に則り当選者をくじ引きで決めるという異例の事態となったことから、当時はマスコミにも報道されるなど大きな話題となりました。

現在、私は町長として4期目となりますが、その間には財政健全化団体の脱却をはじめとして、大湯会館の建て替えや町立大鰐診療所の建設など、町の未来を見据えたさまざまな取組みに着手してまいりました。

今後も、町職員や議会と協力しながら、町民の皆さんがいつまでも「住みたい・住み続けたい」と思える大鰐町の実現を目指して努力してまいります。

